

大国小学校多忙化改善の取り組みについて

- 1 目的 教員が、子ども一人一人と向き合う時間を確保することにより、その責務を果たし、教育の質を高める。



2 内容

- ① 会議等の効率化
 - ・会議の内容の精選と効率化を図ることで、勤務時間内での会議終了を目指す。
 - ・会議の時間設定や協議事項と連絡事項の棲み分けにより、より効率化を図る。
- ② 学校行事の負担軽減
 - ・学校行事の精選と内容の見直しにより、職員や児童の負担を軽減し、児童と向き合う時間を確保する。
- ③ 校内組織の見直し
 - ・校内組織の見直しにより、業務の平準化とともに効率化を図り、業務内容を精選する。
 - ・次年度への引き継ぎを確実にし、年度当初の業務推進が滞ることのないように配慮する。
- ④ 業務の効率化
 - ・業務内容の見直しと効率化に努めながら、協働して業務に取り組む。
 - ・分掌業務のマニュアル化や電子データの共有化をさらに推し進めることで、作業効率を高める。
 - ・定時退庁日を設定し、全員で守るように意識づける。
- ⑤ 地域人材の活用
 - ・地域・家庭・学校の連携・協働により地域とともにある学校づくりの推進を図る。
 - ・学校支援ボランティア等の積極的な活用を推進する。
- ⑥ オープンスペースの有効活用
 - ・オープンスペースを有効活用しながら、子どもたちの学習活動の効率化と活性化を図る。
 - ・学年単位等でオープンスペースを有効活用した学習活動を工夫する。
- ⑦ 生徒指導
 - ・生徒指導上の諸問題について、管理職も含めて情報共有する中で、全員が同じ歩調で問題解決にあたる。

